

(機械翻訳に基づく仮訳)

韓国農林畜産食品部プレスリリース 2022 年 5 月 26 日 21 時 53 分

江原道洪川郡の豚農場でアフリカ豚熱(ASF)が発生

<https://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmcmElMkY2OCUyRjMzMDI5OSUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRg%3D%3D>

アフリカ豚熱中央事故収拾本部(本部長チョン・ジョンゲン農林畜産食品部長官、以下「本部」)は 5 月 26 日、江原道洪川(ホンチョン)郡所在の豚農場(1500 頭余り飼育)でアフリカ豚熱(ASF)が発生したと発表した。

江原道動物衛生試験所で豚の斃死体を発見した農場主の申告を受け、該当農場の試料を精密分析した結果、アフリカ豚熱(ASF)と確認された。

本部は江原道洪川の豚農場でアフリカ豚熱(ASF)が確認されたことにより、直ちに初動防疫チーム・疫学調査チームを現場に派遣し、外部人・家畜・車両の農場出入り統制、消毒および疫学調査など緊急防疫措置中である。

アフリカ豚熱(ASF)の拡散遮断のため、緊急行動指針(SOP)に基づき、発生農場(1,500 頭余り飼育)に対しては、全頭数殺処分を実施し、洪川郡の豚農場(15 戸、41,000 頭余り)に対する緊急精密検査と江原道全市郡の豚農場に対する臨床検査を実施する。

※ 発生農場から半径 500m 以内には豚農場がなく、500m~3km 以内に 1 戸(3000 頭余り)、3km~10km 以内に 8 戸(16,500 頭余り)が所在

また、5 月 26 日午後 6 時 30 分から 5 月 28 日午後 6 時 30 分までの 48 時間、京畿道・江原道の豚農場・と畜場・飼料工場・出入車両・関連畜産施設などに対して一時移動中止命令(Standstill)を発令した。

本部長は農食品部・行政安全部・環境部・検疫本部・防疫本部・江原道・京畿道などの関係機関が参加する緊急防疫状況会議を 5 月 26 日(木)午後 10 時に開催し、ASF 発生状況を診断し、防疫措置推進状況および今後の対応策を点検する計画だ。

本部長は「最近野生イノシシ ASF 発生が京畿道・江原道を越えて忠清北道・慶尚北道まで拡散した状況で非常に嚴重な状況」と明らかにし、「農食品部と地方自治体の関係者は発生農場に対する迅速な殺処分、京畿道・江原道地域の一時的移動中止命令および集中消毒など防疫措置に総力を傾け、全国の豚農家では徹底した農場消毒と長靴の履き替え、手指消毒など防疫規則を遵守すること」を強調した。